

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 93

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	歴史的町並防災対策事業											
所属名	教育委員会 文化財 課 文化財 グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	4	文化	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	施策	1	文化財などの保存・継承
予算科目	9	4	7	文化財	費	94757	伝統的建造物群保存地区防災対策					事業
					費							事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市文化財保護条例、同施行規則、補助要綱、三町・下二之町大新町防災計画											
事務事業の実施主体	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 市以外→											
事務事業の実施方法	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 指定管理 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→											

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民・観光客	受益者数	4,136,231 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	伝建地区を災害に強いまちとする。		
概要	事業の実施手法、手順	伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等。		
概要	事業始期・終期	始期：年度から	終期：年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 伝建地区の土蔵は防火帯として重要であり、伝建地区を災害に強い町並とするために、修理を継続して実施していく。また、下二之町大新町伝建地区において昨年度より引き続き、初期消火用設備の設置等を進めていく。			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
財源	総合計画計画額(当初)	40,000	10,000	40,000	30,000	30,000
	総合計画計画額(計画額)	40,000	40,000	40,000	30,000	30,000
	事業費(計画・予算・見込・決算額)	33,000	40,000	40,000		
	国庫支出金	16,500	20,000	20,000		
	県支出金	3,300	1,000			
	地方債	3,300	1,000			
	受益者負担					
	繰入					
	一般財源	13,200	19,000	20,000		
	その他	13,200	19,001			
H17国勢調査	96,231 人 32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価				
受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %	-	-			
市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	343	416			
1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	1,026	1,243			
受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
1 その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)						
自火報1軒当たりコスト(事業費/世帯数)	単位 円/人	1,603,200	1,296,400			
	単位 円/人					

(成果面)

活動・成果指標	活動指標	指標名						活動の方向
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	目標値	-	-	10	10	10	10	↑
	実績値	7	8	0				
	達成率	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	
成果指標	目標値	-	-					
	実績値							
	達成率	-	-					

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	伝建地区土蔵等修理 自火報設備修理等	258,653 千円
	事業費	(内容)	千円
	その他	千円	
本年度	対象・手段	伝建地区土蔵等修理 自火報設備修理等	40,000 千円
	事業費	(内容)	千円
	その他	千円	
受益者負担	対象・手段	(内容)	千円
	受益者負担	(内容)	千円
	その他	千円	

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	判定理由	国選定の文化財である三町・下二之町大新伝建地区の修理修景事業は地区住民のみならず、一般市民、観光客からのニーズも高い。	判定	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価	A	
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	減少	1	維持	増加			
(判定理由)	機器の見直しを地元等と協力してすすめ、コスト削減を行った。					③成果面	拡大 維持 減少
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	拡大	1	維持	減少			
(判定理由)	全体計画に基づき、修理修景事業を実施していく。					コスト・成果ポジション	A 第1水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり	改善・継続	終期設定	休止	廃止	完了
活動の方針	文化財の保護は永続的なものであり、今後も継続して実施していく。特に伝建地区の土蔵は、防火帯として重要であり、伝建地区を災害に強い町並とするために、修理を実施していく必要がある。 次年度実施方針 防災計画に基づき、土蔵修理及び初期消火設備配置等の事業を継続して実施していく。					
総合評価	コスト	中	成果	中	評価区分	III
	「II」以上の水準に向けた改善が必要 飛騨高山のもっとも重要な地域資源を守るために本事業は重要であり、コスト削減を図りながら、計画的に実施していく必要がある。					